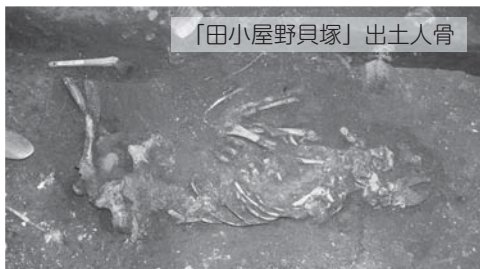


世界文化遺産推薦候補に決定

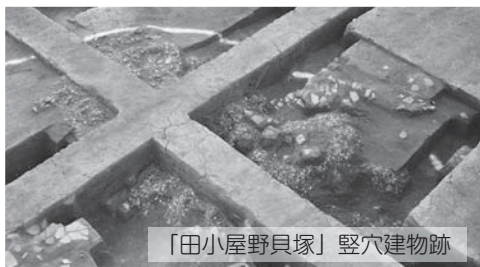
7月19日、国の文化審議会において、亀ヶ岡石器時代遺跡、田小屋野貝塚を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が、平成32年の世界文化遺産登録を目指す推薦候補に選ばれました。今後、世界自然遺産推薦候補「奄美・沖縄」との競合により、国内推薦の一枠を争うこととなります。



「亀ヶ岡石器時代遺跡」
遮光器土偶



「田小屋野貝塚」出土人骨

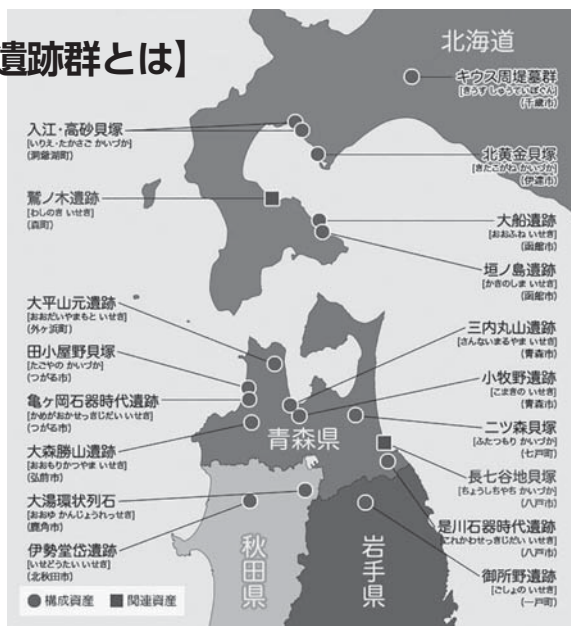


「田小屋野貝塚」竪穴建物跡

【北海道・北東北の縄文遺跡群とは】

狩り・採集・漁によって、約1万年もの長期にわたり自然と人間が共生し、定住を実現した世界史上でも非常に珍しい縄文文化。

北海道・北東北の縄文遺跡群は、世界最古の土器や精神文化に関わる土偶等が出土し、物質的・精神的に成熟した縄文文化の発展を示している。17の考古学的遺跡で構成される。



「本登録を勝ち取ろう！」 まだ道半ば 市民一丸の取り組みを



世界遺産登録の実現へガンバロー！

推薦候補決定を受けて7月31日、松の館で報告会が開催され、市民ら約170人が世界遺産登録実現に向け一丸となることを誓いました。

報告会では、福島市長が「取り組みを支えてくれた関係各位の努力に敬意を表する。しかし、本登録に向けた取り組みはまだ道半ば。これまで以上に官民一体となった取り組みが求められる」とあいさつ。市教育委員会の羽石智治学芸

員が、これまでの経緯と今後の取り組みについて報告し「世界文化遺産登録は遺跡に新たな価値を与える一方、その保全については今まで以上に大きな責務を伴う。市民の皆さまの協力を得ながら取り組みを進めていきたい」と述べました。

最後に葛西教育長が「市民みんなの大きな力で登録を勝ち取ろう」と述べ、出席者全員でガンバロー三唱し決意を新たにしました。

縄文遺跡群のこれまでの歩み

平成18年11月	県などが「青森県の縄文遺跡群」の世界遺産暫定リスト記載を文化庁に提案
平成19年1月	上記の提案が国の文化審議会で「継続審議」扱いに
8月	北海道・北東北知事サミットで4道県による共同提案合意。資産名称を「北海道・北東北の縄文遺跡群」に決定
12月	「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産暫定リスト記載を文化庁に提案
平成20年12月	政府が世界遺産暫定リスト入りを決定
平成21年1月	ユネスコの世界遺産暫定リストに記載
6月	4道県による世界遺産登録推進本部を設置
平成24年12月	構成資産を18遺跡に決定
平成25年7月	推薦書原案を文化庁に提出
9月	「明治日本の産業革命遺産」推薦決定。縄文遺跡群は見送り
平成26年9月	「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」推薦決定。縄文遺跡群は2度目の見送り
平成27年7月	「宗像・沖ノ島と関連遺産群」推薦決定。縄文遺跡群は3度目の見送り
12月	構成資産を16に変更
平成28年3月	入江・高砂貝塚を2つに分け構成資産を17遺跡とする
7月	「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」再推薦決定。縄文遺跡群は4度目の見送り
平成29年7月	「百舌鳥・古市古墳群」の推薦決定。縄文遺跡群は5度目の見送り
平成30年7月	「北海道・北東北の縄文遺跡群」推薦候補決定



世界遺産登録までの流れ

平成30年7月	19日、「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界文化遺産推薦候補に決定（文化庁） 年内に、政府が文化遺産、自然遺産（奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島）から世界遺産への推薦を一件に絞る
平成31年2月	国からユネスコ（国際連合教育科学文化機関）へ推薦書を提出
平成31年秋頃	イコモス（国際記念物遺跡会議）による現地調査 イコモスの専門家が現地調査し、評価報告書をユネスコ世界遺産センターへ提出
平成32年5月頃	ユネスコ世界遺産審議会で審議、世界遺産登録決定

NPO法人つがる縄文の会（川嶋大史理事長）主催の「JOMON亀ヶ岡遺跡まつり」が8月18日、木造館岡のしゃこちゃん広場を主会場に行われました。

木造高生16人が縄文遺跡を案内する「田小屋野貝塚ウォーク」には、県内外から約90人が参加。生徒らの趣向を凝らした津軽弁ガイドを楽しみながら遺跡周辺を巡り、縄文の生活に思いを馳せていました。東京都から参加した大野治男さんは「ガイドの内容が充実していて楽しく散策できた。住居跡にわかりやすい案内板などがあればもっと良くなる」と期待。ガイドリーダーを務めた乗田翔也さん（3年）は「熱心に聞いてくれてやりがいがあった。これからも地域の縄文文化を発信していきたい」と話していました。



縄文の衣装で案内する木造高生ガイド

地元の生産者が特産のスイカ・メロンで参加者をもてなしたほか、老人クラブや自治会の会員が昼食を提供。夜には、地元園児らのパフォーマンスやネブタの運行などもまつりを盛り上げ、地域一体で世界文化遺産登録へ向け機運を高めました。

地域一体で機運高める
遺跡周辺で「亀ヶ岡遺跡まつり」開催